

商店街をもっと見る。もっと知る。

京都商店街新聞

2023.9 | Vol.6

KYOTO SHOPPING DISTRICT PRESS

発行 | 京都府商店街振興組合連合会 〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷絆町78 (京都経済センター3階) TEL (075)-342-0301 FAX (075)-342-0302 URL <https://syouren.or.jp>

CONTENTS

インタビュー：祇園商店街振興組合 | 空き店舗活用：福知山市 新町商店街 | 京都市食べ残しゼロ推進店舗：スター食堂株式会社 | 京都ハンナリーズ：スポーツコミュニケーションKYOTO株式会社 | 商店街アンケート | 商店街川柳 | and more...



想いを形に

10年ぶりに地区計画の改正に取り組み、新たに「地域景観づくり協議会制度」に着手するに至った想いとは。

祇園商店街振興組合

理事長 北村 典生さん



祇園青龍組の活動開始を組合員に伝える案内文の冒頭

第54回定時総会にて、皆様にご承認いただきました事業計画「祇園青龍組」の活動を開始致します。祇園商店街では、清々しい(すがすがしい)参道づくりの第一歩として、毎水曜日の朝、我々の命であります四条通りを清掃したいと思います。古い話を持ち出して恐縮ですが、八百年前の御成敗式目第一条にも、神は人の歌(うやまい)に依りて威を増し、人は神の徳に依りて運を添う(運を開く)とございます。いわずもがな、今、八坂神社参道を縁あってあずかる我々です。ご神威の高揚に寄与したいと思います。ふるってご参加下さいませ。

想いを形にする言葉が散りばめられています。

● 祇園商店街振興組合 | 〒605-0074
京都市東山区祇園四条通一カ亭東隣
☎ 075・531・2288 |
FAX : 075・531・2422
URL : <https://www.gion.or.jp>

マップ出所：京都商店街連盟 / 京都府商店街振興組合連合会 HP
商店街マップより URL:https://syouren.or.jp/files/P66_P67_of.pdf



八坂神社の参道商店街として、国内外から多くのお客様を迎える祇園商店街振興組合の北村理事長に、商店街とまちづくりの関りについて語っていただきました。

10年ぶりに地区計画を改正

「2026年に帝国ホテルが祇園甲部歌舞練場のところに行けると、小さな土地に宿泊所がいっぱい出てきますやろ」と北村理事長は地区計画改正に踏み切った経緯を切り出されました。

祇園商店街で地区計画を作成されたのは今から10年前。当時、弥栄中学校が閉校になる際に、風俗営業を取り締まる手立てがなく、丸腰状態だったとふり返ります。地区計画を策定するのに、いちばん大変だったのは、エリア内のまとまりがなかったこと。そこで、北村理事長は、関係者が集まれるよう『祇園まちづくり協議会』を結成、現在も継続されています。「みんな顔は知ってたからね。集まって、ただの飲み会のようなけど、そこでは活発というか、すごい意見がドンドン出る、協議会の存在は大きかった」。

地域景観づくり協議会制度

同商店街では、地区計画の改正と共に、新たに「地域景観づくり協議会制度」を活用した取組みに着手。今年の組合総会で「景観委員会(以下、委員会)」設置が承認され、8月には、委員会が「地域景観づくり協議会制度」に係る京都市の認定を受けることに。この背景には、インバウンド客の急増とその後の新型コロナウィルス感染症拡大等を経て、商店街の様相が激変し

たことによる危機感があります。「ずっとシャッターが降りてたのが、隣も向いも何も知らされていないのに、いきなり何の商売かもわからず出店、みたいなことがあるんですわ。行儀が悪い」と、北村理事長は課題を放置せず、解決策を実行に移されています。

ビジョンの重要性

地区計画の改正や地域景観づくり協議会に係る委員会の設置の根底には、同商店街が有する地域のビジョンの存在が。平成23年5月の組合総会で承認されたビジョンには、「日本の美意識に出会えるまち〜清々しき参道 祇園商店〜」、「祇園の美意識を守り育む〜変えないまちの仕切り、変わらない老舗の心意気〜」の小見出しが並びます。北村理事長は「文言を出すのに、ちょっと時間かかったんですけど、みんながそれに向かって行ったら食べていけるやろうと、みんなで考えたんですよ」と涼しい顔。が、思いを言語化することがいかに大変な作業かは想像に難くありません。

青龍組“清々しい”を見せる

これからの取り組みはすでに始まっています。「『清々しいって何や』という組合員中にはいると思ひまして、“清々しい”を見せるんですわ」と北村理事長。

同商店街では毎水曜日、背中に青龍と書かれた揃いの法被を着て、参道の清掃活動を行う。「そのノリで、山まで行けたらええなあと考えてるんですわ」と笑う北村理事長。この感覚がリーダーには必要なだろうと、納得しました。



空き店舗は、無限の可能性。

福知山市 新町商店街



福知山公立大学地域経営学部
たにくち ともひろ
教授 谷口 知弘さん

新町商店街事業協同組合
くじょうきが
理事長 公庄 祥さん

一般社団法人福知山ワンダーマーケット
みやた ひろみ
代表 宮田 裕美さん

福知山市の新町商店街にあるアーキテンポを訪れ、商店街が主催するのではなく、あくまでバックアップに徹し、外部の協力を得ながら運用されている、新町商店街事業協同組合理事長 公庄 祥さん、一般社団法人福知山ワンダーマーケット代表 宮田 裕美さん、福知山公立大学地域経営学部教授 谷口 知弘さん、3名の方にお話を聞きました。

アーキテンポとは

厨房を併設したレンタルスペースで、カフェやレストランの起業を目指す方の練習に活用されたり、仲間内で食事をしたり、料理教室をしたり……。とにかく幅広く活用されています。「福知山ワンダーマーケット」(以下ワンダーマーケット)のプロジェクトの一環として、2019年のオープン以来、これまでに4店舗がこのアーキテンポから独立して開業されています。内訳としては、お菓子屋が2店舗、ラーメン屋が1店舗、バーが1店舗。いずれも新町商店街での出店ではないようですが、「ここで生ま

れたお店が、大きく育ってもらえたらそれで良いです」と、笑顔の公庄理事長。

ワンダーマーケット、アーキテンポへの想い

「最初は新町商店街をシャッター商店街ではなく、レトロ商店街として残したいという思いのメンバーが集まり、その中でマーケットをしようという話になり、2016年より月1回のワンダーマーケットを開催して、「常にこの商店街が賑わうように、空き店舗のシャッターを一つずつでも上げていきたいね」、という共通の想いから、アーキテンポのプロジェクトが始まりました」と宮田さんは当時を振り返ります。その思いが公庄理事長に届き、空き店舗のオーナーさんとの交渉が進み、谷口教授や大学生の協力も得ながら実現に至りました。

活動の特長について

谷口教授は、ワンダーマーケットやアーキテンポの活動は、

“シャッター商店街の価値を再創造する試み”と紹介されています。「あの店、シャッター閉まっているなあ」で終わるのが、「シャッター閉まっているということは、使えるかもしれない。でも、どこに尋ねたら良いかが、わからない」という方がいたら、公庄理事長が間に入りオーナーさんと掛け合ってください。「これほど心強い連携はない」と谷口教授は話されていました。

公庄理事長、宮田代表、谷口教授お三方のお話を聞きするなかで、改めて三者の絶妙な連携の下、活動が行われているワンダーマーケットを例に、下図に示してみます。どの部分が欠けても成り立たない関係性が出来上がっています。



これからの展開

谷口教授より「アルベルゴ・ディフーズ」というイタリア発の観光まちづくりの考え方を教えていただきました。ホテルの機能がまちの中に分散して、そこで暮らすことができるという考え方のことです。「アーケードが廊下で、アーキテンポがダイニング、銭湯が風呂で、ゲストハウスが寝るところというように、アーキテンポを拠点にしながら、まち全体を編集し活用していけたらいいな。と妄想しているところです」と、谷口教授。俯瞰的に物事を見て、一歩ずつ進めていくまちづくりの大切さも教えていただきました。

● 新町商店街・福知山ワンダーマーケット | 〒620-0029 京都府福知山市字上新町17 | URL : <https://wonderfukuchiyama.net> | Mail : wonderfukuchiyama@gmail.com



左/福知山ワンダーマーケットの開催時の写真。下/新町商店街や広小路通りを中心に、福知山城の城下町エリアのお店を紹介する可愛い「テンポサンボマップ」も制作。





「京都市食へ残しゼロ推進店舗」の取り組み店舗紹介

おいしい笑顔は、スターのかがやき。

スター食堂株式会社 代表取締役 営業統括部長 人事部長
たきかみじゆん 瀧上 純さん

京都洋食 スター食堂株式会社の取締役 営業統括部長 兼 人事部長 瀧上 純さんを訪ね、お話を聞きました。

スター食堂株式会社について

同社は、大正 14 年創業。京都で洋食を広めた会社のひとつ。当時の京都人にとって、映画を観に行くと、「スター食堂」で美味しい洋食を食べる、というのは、特別なハレの日のお出掛け。現在、京都市内でメインブランド「市場小路」をはじめとした 15 店舗を展開しています。その中にはコロナ禍で開店したテイクアウト専門店も含まれます。そのほとんどが「京都市食へ残しゼロ推進店舗」。

SDGs・フードロスを起こさない様々な工夫

SDGs に関しては、2019 年の 95 周年事業の一端で、SDGs を自ら学ぶという姿勢から、既に取り組みをしている団体から知見を得て、応援、協力して様々な活動を積極的に行われていました。が、間もなく未曾有のコロナ禍に突入。外食産業全体が危機に陥り、停止せざるを得なくなりました。ただ今でも、既に行われた活動を知るところから声がかかることもあり、できる範囲で協力を続けておられます。最近では地元企業との協業や、職業体験の受け入れ等に取組みの形が変わってきているそうです。

食の世界では SDGs というワードの話になりますが、同社ではもともと「フードロスを起こさせない」というのが基本姿勢。

例えば、毎年大量廃棄が問題視される恵方巻。同社では、過

去のデータから、間違いなく売れるであろうという数だけを受注生産されています。「売り切れてしまっても、大きなフードロスに与するようなことはしたくない」と、瀧上さん。

また、「仕入れた材料は丁寧に扱い、食べられる部分は可能な限り使う。それが自分達の商売のためにもなるし、食材のためにもなるし、業者様のためにもなる」と考えられています。

瀧上さんは「温泉卵を作る卵を雑に扱い、ダメにしてしまった時に、まずは卵屋さんの気持ちを考えて、とか、「野菜のまだ食べられるようなところを簡単にちぎって捨てたりしたら、作っている人にしたらどんな気持ちか」、というような話はよく言います。

賞味期限も、味方につける

賞味期限の設定には、コンプライアンスを念頭に、微生物研究所に菌検査を依頼して、科学的根拠に基づいて最長を決定されます。1 日でも長く販売できれば、それもロスを起こさせない行動につながります。ロスが出そうになれば、例えば、賞味期限内にハンバーグを引き上げて、それを潰して加熱してミートソースにし直して、パスタソースとして転用するなど工夫をされています。焼き肉用に一頭買いする、牛肉の筋や油といった部分は、炊いて牛筋としてごはん添える、ということなども、息をするようにやってこられました。仕入れたものを極限まで使い切ることが自分達の給料になる、という意識で取り組まれていることも、フードロスの対策のひとつになっています。

「京都市食へ残しゼロ推進店舗」の取り組み

食べ残しゼロ、という観点からは、洗い場に返却されてきた

お皿を注意して見ているそうで、なぜ料理が残っているのかを考え、量を調節したり、コースで食べ残された料理のデータを取り、それをもとに、メニューに訂正を加えたりされています。

他の業者様とのパートナーシップも進めています。湯葉屋さんが廃棄したいと言うおからを引き取って、卵の花を作る。お酒屋さんの作った酒かすパウダーを混ぜ込んだ焼き菓子を作る。

また、フードロス対策ではありませんが、器がサステナブルになるように、サブスクリプションでいくつか借りて、循環して使っていけるようするなど、アイデアはまだまだまだできそうです。

次の 100 年に向けて

まもなく 100 周年を迎える同社。そこはゴールではなく、次の 100 年に向けてのスタート。瀧上氏は「世界大戦を乗り越え、コロナ禍を乗り越え、これからも常に新しいことにアンテナを立て、人々の嗜好を観察し、トレンドの変化を感じながら、素敵な体験や、楽しい時間を提供する会社でありつづけたい」と抱負を語ってくださいました。

創業当時の「スター食堂」がそうであったように。時代とともに求められる料理は変化していくかもしれませんが、常に「フードロスを起こさせない」という姿勢がぶれることはありません。それが、SDGs のめざすところへと繋がっていくのではないのでしょうか。

● スター食堂株式会社 | 〒604-8051 京都市中京区船屋町 385 | ☎ 075-256-1925 | FAX : 075-221-8402
URL : https://www.star-kyoto.co.jp/

京都ハンナリーズ
優勝パレードは、
商店街で。

スポーツコミュニケーションKYOTO株式会社
まつしま こうた
代表取締役 松島 鴻太 さん

ラグビー選手から京都ハンナリーズの運営会社であるスポーツコミュニケーション KYOTO の代表取締役に就任されるという異色の経歴をお持ちの松島鴻太社長に取材しました。

ハンナリーズへの想い

京都ハンナリーズの運営会社の社長を任されたときには、すごいチャレンジだと感じました。チームの名前からは京都らしい上品かつ華やかな印象を持たれますが、その言葉の裏にある京都の力強さをチームコンセプトにしたいと考えています。スポーツの力で未来を切り開いていけるような、そして京都が誇りに感じられるような洗練されたクラブを作っていきたいと考えています。そのことによって、スポーツの力で地域社会に全力で貢献していきたいと思っています。

スポーツで地域を盛り上げたい

協賛企業が昨年 1 年間で 115 社増えて 260 社になりました。多くのファンの方々の応援によって観客数も順調に伸びています。こうした声援に対し、チームが恩返しできることが一番大事だと思っています。それには、チームが強くなって試合に勝てることも大切です。

有能なヘッドコーチをはじめ多くの素晴らしい選手を獲得して、チームを作り上げていく努力もしています。今回、地元京都出身の選手をチームにもかえることもでき、さらに地域に愛されて応援されるチームへと踏み出したところです。また、私たちは伏見商店街での活動をきっかけに多くの世代が集まる商店街での地域連携活動にも力をいれています。将来は、多くの声援を受けながら商店街での優勝パレードを行えれば素敵ですね。ぜひとも実現させてみたいです。スポーツの力で地域を盛り上げていけるような存在になっていきたいです。

Bプレミア参入を目指します

2026-27 年シーズンから新たな最上位リーグ「Bリーグ・プレミア」が始まります。新リーグ参入には平均来場者数 4 千人、年間売上げ 12 億円、5 千席以上のホームアリーナ確保など、厳しい基準をクリアする必要があります。今シーズンはその審査対象で、平均来場者を 4 千人にジャンプアップするためクラブの総力を注ぎ込んで挑んでいます。

日本最高峰のリーグへ参入することで、京都の未来に貢献できると信じています。みなさんも、ぜひ試合に足を運んでいただきたいです。



取材を終えて

地域を盛り上げられるチームをつくるため、前向きな姿勢で戦っておられる姿が印象的でした。私たちが京都の学生として、地域とともにハンナリーズを応援したいと感じました。

(文責) 平安女学院大学 国際観光学部 林千花 大橋七星

● スポーツコミュニケーション KYOTO 株式会社 | 〒615-0033 京都市右京区西院寿町 40 番地 3 | URL : https://hannaryz.jp/

商店街・店主のみなさまへ

京都商店連盟より、
商店街アンケートに
ご協力お願いします!

掲載情報、編集メンバー、川柳、広告
大募集中です。

お問い合わせ先
■ 京都商店街新聞 編集部宛 E-mail / kyoto.shotengai.shinbun@gmail.com
■ 商店街川柳 応募フォーム URL / https://forms.gle/YJ9oGc4YArgPpgVX6

編集部宛フォー
ムはこちら▼



商店街川柳

日常のひとこまを
川柳にしてみませんか?

商店街川柳の
応募フォーム
はこちら▼

本屋さえ 日本を支え 国支え わか さん

帰省して ふと立ち寄れば 同窓会 雅屋のよっちゃん さん

祖母と行き今は子を抱き おかず屋へ 雅屋のよっちゃん さん

街の魅力は 笑顔行き交う 商店街 油 席子 さん

我が街の 風情を守ろう 商店街 万年役員 さん

40年 当時のままが ブチバズリ 雄威亭やす さん

伝統と 古今東西 交わる文化 みぞれゆき さん